

## JSB1000 レースレポート 第6戦 岡山国際サーキット



史上初のトップクオリファイ方式で公式予選が行われた JSB in 岡山。金曜日は、29度まで気温が上がるほどの陽気だったが、予選の土曜からは小雨の降る肌寒い状況、読み難い路面状況で各チームの判断力が問われた。

### 9/29(SAT) 予選レポート

気温:25℃ 天候:曇時々雨 路面:ウエット

前日の陽気を忘れさせる様な肌寒い小雨の降る中、史上初のトップクオリファイ方式の予選がスタート。A組の第1パートは小雨の降るレインコンディションの中でスタート、読み難い路面状況にほとんどのチームのタイムが伸び止む。A組の走行中に雨は上がり、今野 由寛の走るB組は幸運にもほぼドライコンディション。第1パートを1' 31" 614の好タイムでB組5位、総合9位(暫定)を獲得、上位16チームが獲得できるトップクオリファイへの進出を決めた。

ドライコンディションでスタートした第2パート、トップクオリファイはホンダドリーム無限 RT/ 徳留 和樹が予選用タイヤを使用し、コースレコードを更新。今野も1' 31" 445と更にタイムを伸ばし総合12位、スターティンググリッド4列目 / イン側という好位置を獲得し、予選を終える。

この時今野はチームスタッフに決勝でのトップテン入りを宣言する。

予選タイム:1分31秒445 12位

### 予選終了後、今野のコメント

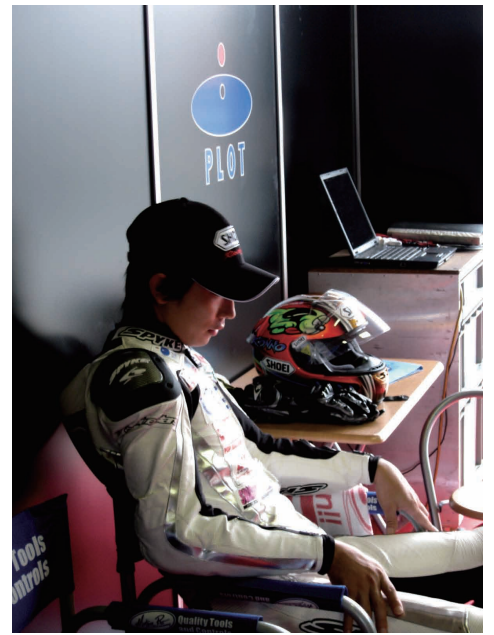
事前テストから投入した車体パーツのフィーリングが良く、安定して走れた。今回の予選では決勝用タイヤを使用しての走行となり、スーパーラップを出すまでには至らなかったが、ベストタイムに迫る高いアベレージタイムで走れている事は決勝に向けての好材料になります。

### 9/30(SUN) 決勝レポート

気温:21℃ 天候:雨のち曇 路面:ドライ

朝から雨が降り止まず更に冷え込んだ決勝日、ウォーミングアップランはレインコンディションでのスタートとなった。急遽マシンセッティングをレイン用に変更したが、参考タイムで1' 53" 905、順位は30位と大きく落ち込み不安を残す結果となった。

各チームの不安要素であった雨は上がり、決勝の時にはなんとドライコンディションに。各チームセッティングをドライコンディションに変えてのスタートとなる。スタート直後から他チームが順位を入れ替えながら第1コーナーに突入する中、今野は順位をキープ、無事にファーストラップを終えた。その後のレースは大きな順位の入替わりは無いが、ワンミスがあれば大きく順位が入れかわる緊張した展開が続いた。そんな中でも常時安定したライディングで自分の走りを維持した今野は終盤までペースを崩さず、最後までトップグループを追いかける形でチェッカーを受けた。決勝を終え、バイクから降りた今野は顔を歪めながら腰に手を当る。完治とは言えない体調であった事がうかがえた。そんな状況ながら宣言どおりの今期ベストリザルトとなる10位という好成績を修めた。



決勝 10 位

### 決勝終了後、今野のコメント

ドライコンディションになったとは言ってもコース内にはまだ路面の濡れている箇所があり、それを気にして序盤3周は必要以上に慎重になってペースが上げる事ができずにいた。レース中盤から後半にかけて安定した追い上げができたが、レース終了間際は負傷箇所である腰の痛みが強くなりラストスパートをかけられなかった。

今回のレースではセカンドグループからトップグループへと戦うステージレベルを上げる事ができた。それに伴いトップグループで戦うために何が必要なのかを確認できた収穫のあるレースでした。レース前に掲げたトップ10という目標を今回達成できたので、次はシングルフィニッシュを目指します。

次回は最終戦、10年ぶりの「2レース」制 MFJ-GP in 鈴鹿10/20,21